

かすみがうら

第110号
 <毎月1日発行>
 発行所
 霞ヶ浦医療センター
 かすみがうら編集局
 〒300-8585
 土浦市下高津2-7-14
 Tel 029-822-5050
 Fax 029-824-0494
 E-mail & Web Site
 kasumi@kasumi.hosp.go.jp
 http://www.hosp.go.jp/
 ~kasumi/

入院患者さん、花火を楽しむ

患者サービスマス向上委員会 山口 真也

毎年恒例の土浦全国花火競技会が、今年も10月2日(土)に行われました。日頃の私たち職員が行いが良いせい、雨続きだった週末から一転して、当日は久しぶりの晴れ間となりました。通常は当院の屋上は安全対策のため閉鎖されていますが、一昨年から毎年花火の日には入院患者さんに開放することにしています。今年は参加者数が過去最高となり、入院患者さんと付添のご家族併せて約130人の方が花火を見に来られました。



当日、屋上には提灯が飾られ、お祭り気分を盛り上げました。入り口の段差には車イスが通れるように、電気士長の館林さんが手製のスロープを作ってくれました。また患者さんがぶつからないように、障害物のあるところには三角コーンや黄色と黒のシマシマ印がつけられていて、こういうところに用意してくれた庶務の人たちの心配りが感じられます。

さて6時15分になると、西5階病棟から順に、入院患者さんと付添のご家族が次々と屋上に上がってきて、ビニールシートを引いたお座敷はあつという間に満席に。車イスや輸液ポンプや酸素ボンベをつけた患者さんも見えて、皆さん嬉しそうに花火を楽しんでおられます。輸液ポンプのバッテリーが切れてきてピーピーとアラームが鳴っても、ちゃんと電源の延長ケーブルを用意してあるので、大丈夫です。外科の橋本先生と内科の古宮先生はご家族揃って花火をご覧になっていました。

ラジオでは茨城放送の花火実況中継が大音量で流され、一次は



花火工業のスターマイン、星空の彼方へ、曲は「です・・」と解説付です。そのおかげで、創作花火の時は、そうかあはカッパ



だったのか、おそれて次はキングドラなのね、と、よりいっそう花火を楽しむことができました。これは参加された患者さんにも大好評でした。

今年も職員のボランティアが20名ほど参加し、スロープでの車イス押しや患者さんの誘導介助を行いました。また毎年恒例となったお茶出しサービスマスも、外来看護師の黒澤師長や岡野さんが中心となつてやっていたいただきました。病院内からかき集めた電気ポットで紅茶と緑茶をいれて、皆さんに配って歩きます。今年は気温が低く風も強かつたため、温かいお茶は大変に喜ばれました。また、恒例の花火をバックの記念写真撮影サービスマスも行われました。花火と人物を同時に撮るのはかなり高等テクニクなのですが、こちらもカメラマンの腕が上がり、今年も失敗写真はありませんでした。あとで焼き増しを差し上げましたら、皆さん喜んでいただけました。

さて、楽しかった花火もあつという間に二時間半が過ぎて、とうとう終わりとなりました。最後まで寒い中を頑張つて花火を見ていた患者さんたちも満足して病棟に戻られ、後片付けをした後は、第二会議室で道路の渋滞がなくなるまでボランティアの打ち上げです。今年もカラオケはしませんでした。病棟幹部からのカンパで大量に買い込んだたこ焼き・焼きそば・お好み焼きでみんなお腹いっぱいになり、楽しく騒ぎました。

今年で三回目となった花火大会の屋上開放は、当院の恒例患者サービスマスとして定着したようです。入院患者さんに喜んでいただけると貴重な機会ですので、これからも



ぜひ末永く続けていきたいものですね。また来年も職員の協力をよろしくお願いいたします。

最後に、患者さんからの感想をいくつか紹介します。

「入院中で精神的に滅入っている時に、いつもとは違う高い場所から花火を見ることができて、気分転換になりました。」

「このよつな形で花火観覧ができるとは思いませんでした。まさかの病気がかかってしまい、長い入院生活でちよつと落ち込んでいました。50年以上生きてきて、初めてこんな立派な花火大会を見ることができました。一日も早く病気を治して、また違う形で見たいと思います。お忙しい中、スタッフの皆様いろいろ気を遣っていただき、感謝いたします。こちらの病院の方々には本当に頭が下がります。どうもありがとうございました。病気に負けず、明日からまた頑張つて治したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。」

脳ドック開始のお知らせ

主任放射線技師 山口 幸久

当院では、脳専門の健康診断「脳ドック」を10月1日より実施いたします。

普段から健康に気を使っている方でも、ご自分の脳やその血管の状態を知る手だてや機会はなかなかありません。例えば頭痛やめまいがあつても、脳自体に病気があるためか、それとも他に原因があるためか、それを知るには医療機関での検査を受ける以外ありません。また、物忘れが多くなつてきたような場合でも、単に年齢的なものなのか、あるいは本当に脳自体に異常があるのかは自分では分からないと思います。特に脳の病気が代表的な脳卒中は、前ぶれも無く突然発症する怖い病気ですが、脳の中の狭くなる血管瘤などを早期に発見する

ことにより未然に防ぐことが出来ず、

また、高血圧や糖尿病、喫煙する方、ご家族が脳卒中になつた方などの中には、将来自分もそ

- ・慢性的に頭痛・頭重感がある
- ・めまい・耳鳴りが続く
- ・手足のしびれ、不自由になつた
- ・視力・視野が低下している
- ・意識が無くなつたことがある
- ・高血圧・高脂血症がある
- ・糖尿病がある
- ・肥満である
- ・喫煙・多量飲酒している
- ・年齢60歳以上である
- ・ご家族に脳卒中を患つた方がいる
- ・物忘れが気になる方
- ・などです。



そんな事は分かつている。でも受診と言つてもなかなか敷居が高くて・・・など、普段から仕事や家事などが忙しくて、とても医療機関へ行つて居る時間がない。という方もいらつしやるのではありませんか?そこで、新しく始まる当院の脳ドックを紹介致します。

当院の脳ドックではMRIの検査を受けていただくだけで終

了します。また、平日に時間が取れない方にも脳ドックが受けられるように、土曜日・日曜日の午後検査時間を設定してあります。検査当日は30分程度のお時間をいただきますが、結果は後日ご自宅に郵送いたしますので、検査が終了次第お帰り頂いて大丈夫です。忙しい方にもお勧めします。

当院の脳ドックでは最新型のMRI装置を用い、脳の画像を撮影して、脳自体や脳血管の変化や異常、病気などの有無を診断します。診断は神経系専門医や画像診断専門医が行い、物忘れが気になる方にも行いますので、より質の高い検査となつていきます。また、MRI装置は磁気を利用した画像検査で、放射線は一切使用しませんから、放射線の被ばくが気になる方もご安心ください。さらにMRI装置は造影剤と呼ばれる薬を使わずに、脳血管の検査ができるので、注射の心配もありません。来院していただき、検査時間の30分間程じつと寝ただけで検査は終了します。簡単な検査ですので、お気軽に脳ドックを受診していただきたいと思います。

ただし、MRI装置の特性により次の項目に当てはまる場合には検査出来ない場合がありますのでご注意ください。

- ・ペースメーカーを使用している方
 - ・人工内耳を使用している方
 - ・手術にて体内に金属が残っている方(脳動脈瘤クリップ、人工関節など)
 - ・閉所恐怖症の方
 - ・妊娠中の方
- 脳ドックについてのパンフレットを院内にご準備しました。細かい説明が書いてありますので、こちらも参考にしてください。より詳しい内容についてお知りになりたい方、脳ドック受診希望される方は、当院の放射線科にお問い合わせください。
- 問い合わせ先については、本紙インフォメーションをご覧ください。

トを院内にご準備しました。細かい説明が書いてありますので、こちらも参考にしてください。より詳しい内容についてお知りになりたい方、脳ドック受診希望される方は、当院の放射線科にお問い合わせください。



今月の一品料理 【まいたけの天ぷら】

栄養管理室

- <材料(4人分)>
- まいたけ 2パック
 - 卵 1/2個
 - 冷水 1カップ
 - 小麦粉 3/4カップ
 - 揚げ油 適量

作り方

まいたけは小房に分けておく。卵をよくほぐし、冷水と混ぜ合わせる。
に小麦粉を加え軽く混ぜる。まいたけを にくぐらせ、1

70位の揚げ油に入れ、からりと揚げる。

油をよく切り、器に盛り付けお好みで、天つゆや塩などで召し上がりください。

まいたけ(舞茸)は、サルノコシカケ科のきのこで、独特な香りと歯ごたえが好まれていきます。かつては人工栽培が難しく、幻のきのこと呼ばれていました。現在は人工栽培されており、容易に手に入れることができます。その名の由来は、「かさの重なり合い舞っているように見える」や「見つけた人が舞い上がるほど喜んだ」等の説があります。

まいたけは、カリウム、鉄、ビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンD、食物繊維等が含まれています。さらに、免疫力を向上させ抗がん作用が期待されているMD、フラクシオンという成分が含まれ

ており、近年注目されているところ。秋の味覚を堪能できる一品として、是非お試しください。

栄養管理室では、患者さまの個人栄養相談を行っており、個々の病状にあつたお食事のアドバイスもさせていただきます。ご希望のある方は主治医にご相談ください。



【エネルギー 1人前200kcal】

10月集団指導のご案内

減塩教室(第3木曜日)
午後2時から 第4会議室
21日
加工食品の塩分量
管理栄養士
気を付けよう!

糖尿病教室
(第1・2・4火曜日)
午後3時から 第4会議室
5日
長く続ける食事療法のコツ
管理栄養士

12日
「糖尿病の薬って何があるの?インスリン注射って不安・・・」そんな疑問に薬剤師がお答えします。
26日
「妊娠と糖尿病」
薬剤師

産婦人科医師

公開市民講座のお知らせ

会場/地域医療研修センター講堂
日時/10月21日 14時



「インプラント治療について」

歯科口腔外科医師 新里 知佳

予約の必要はありません。お気軽にお越しください。

<インフォメーション>

電話予約の受付時間(診療予約センターより)

電話番号 029-826-6471(直通)
受付時間 平日 12時30分~16時まで

MRI検査予約について(放射線科より)

当院では、MRI検査を休日に実施することができます。ご希望の方は、主治医にご相談ください。

脳ドックのご案内(放射線科より) **NEW!**

電話番号 029-822-5050(代表)
(内線 3360)

料金 19,000円(自費診療)

脳ドックは、健康診断です。保険扱いにはなりませんのでご了承下さい。